

新規実施項目のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

敬具

(記)

【項目名】：トキソプラズマ抗体IgM(S/CO)

【受託開始日】：2026年9月14日(月)受付分より

【受託要領】

項目名称	トキソプラズマ抗体IgM(S/CO)
項目コード (旧コード)	14335 (5534)
検査容器	1 ・ 分離剤入凝固促進スピッツ
検体量・保存	血清 0.5mL ・ 冷蔵
測定方法	CLIA法
基準値	判定 : (－) S/CO : 0.83未満
報告範囲 (報告形式)	判定 : (－)、(±)、(+) S/CO : 0.83未満～最終値
報告桁数	判定 : なし S/CO : 小数第2位
所要日数	3～4日
実施料	95点
判断料	144点 【免疫学的検査】

トキソプラズマ症は原虫の *Toxoplasma gondii* による人畜共通感染症です。一般的に感染してもほとんどが不顕性感染ですが、免疫不全状態で感染すると重篤化することがあります。また、妊娠中の初感染では、胎盤を通じて胎児に感染し、先天性トキソプラズマ症を発症する可能性があります。

トキソプラズマ抗体 IgM 測定は、急性感染や最近の初感染を評価する検査として重要です。

現在、弊社で受託しているトキソプラズマ抗体 IgM 検査は「Index 値」で報告しておりますが、このたび、現行項目と同様の測定試薬を用いて、「S/CO 値」で報告する項目を新設しましたのでご案内いたします。

●当該検査の受託開始に伴い、現行のトキソプラズマ抗体IgM（項目コード13374 旧コード(5259)）は2027年3月30日(火)受付分をもって検査の受託を中止させていただきます。

※裏面に続きます。

	新規受託項目	ご参考:現行項目
項目名称	トキソプラズマ抗体IgM(S/CO)	トキソプラズマ抗体IgM
項目コード (旧コード)	14335 (5534)	13374 (5259)
検査容器	1 ・ 分離剤入凝固促進スピッツ	同左
検体量・保存	血清 0. 5mL ・ 冷蔵	同左
測定方法	CLIA法	同左
基準値	判定 : (－) S/CO : 0. 83未満	判定 : 同左 Index : 0. 50未満
報告範囲 (報告形式)	判定 : (－)、(±)、(＋) S/CO : 0. 83未満～最終値	判定 : 同左 Index : 0. 50未満～最終値
報告桁数	判定 : なし S/CO : 小数第2位	判定 : 同左 Index : 同左
所要日数	3～4日	同左
実施料	95点	同左
判断料	144点 【免疫学的検査】	同左

●新規受託項目の判定基準

判定	S/CO
(－)	0.83未満
(±)	0.83～1.00未満
(＋)	1.00以上

●現行項目の判定基準

判定	Index
(－)	0.50未満
(±)	0.50～0.60未満
(＋)	0.60以上

- 新規受託項目の「S/CO」と現行項目の「Index」との変換式は、測定試薬添付文書に次のように示されています。

$$S/CO = \text{Index} \div 0.60$$